

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

秋田県

行事名称	第66回古四王神社文化財防火デー
実施期間・日時	令和2年1月26日(日) 午前10時～午前11時45分
実施場所	国指定重要文化財 古四王神社境内
主催者	古四王堂火消しもちまつり実行委員会・大仙市・大仙市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

古四王神社拝殿内のろうそくが倒れ出火し、国指定重要文化財古四王神社本殿に延焼する恐れがあると想定。消防への通報と近隣住民への火事ぶれを行う。ポンプ車による中継放水や放水銃にて消火活動を実施。

訓練の内容

拝殿から煙が出ているのを地域住民が発見し、付近へ火事ぶれ。自動火災報知設備の発信機ボタンを押す。ベルが鳴動し、連動して消防署へ通報されるほか、地域住民9軒と文化財保護課担当職員へ順次火事を知らせる電話がかかる。駆けつけた地域住民、消防団、少年消防クラブ、消防署による消火活動。訓練終了後、消防署より講評を受ける。

参加者及び役割分担

大曲仙北広域消防本部、大曲消防署(16人)：防火訓練全体統括、指揮、講評

大仙市大曲消防団第一分団(35人)：放水訓練

地域住民(30人)：火事発見(1人)、通報(1人)、重要物品の搬出、避難誘導

高畑保育園(20人)

東大曲小学校児童(101人)：少年消防クラブ、放水銃(代表4人)

大仙市教育委員会(1人)、総合防災課(2人)、文化財保護課(7人)：防火訓練等全体事務、現場立会い

特に工夫した点

- ・チラシを配付して、地域住民の参加を促した。
- ・訓練時に消防署の方から状況説明をしてもらい、訓練の目的や流れが参加者全員に伝わるようにした。

問題点・課題

- ・訓練時の地域住民の役割分担が固定的になってきているため、持ち回り制にして有事の際に誰もが対応できるような体制を整えておく必要がある。

その他

毎年文化財防火デーの時期にあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



自動火災報知設備の発信機ボタンを押す
(訓練時の様子)



少年消防クラブによる放水訓練



消防団による放水訓練